

鶴 舞

学習支援に端末寄贈

大阪の業者 よのなか塾に10台

ひとり親や生活困窮家庭、不登校の子供たちなどの学習支援をしている舞鶴市市場のNPO法人「よのなか塾」（早田礼子理事長）に3日、大阪府吹田市の教育システム開発会社「イーラニング研究所」が、学習用タブレット端末10台を贈った。インターネット接続することで小中学校の教科などを学ぶことができる。塾では子供たちの学習や自習に活用する。

【鈴木健太郎】

塾は、学習意欲がありながら家庭の事情や不登校、障害、中退などさまざまな理由で勉強を十分に続けられなかった人たちに学習の場を提供し、本職の教員を含むスタッフが指導している。現在は小中学生を中心に約40人が学んでいる。

研究所は、インターネットを活用し「どこにいても同じく」「自分のペースで」学習できるシステムを商品化。全国で販売する一

方、社会貢献として児童のための施設などに寄贈している。販売代理人の一人である舞鶴市浜の古川修吾さん（39）が、長男の通うよのなか塾のことを同社に紹介し、寄贈が実現した。

この日は、同社の吉田智雄社長が塾を訪れ、早田太郎塾頭に10台を渡した。吉田社長

は「『学習機会を全ての子に』という社の理念に合致した塾。子供

さんのために役に立つこ



早田太郎塾頭（左）にタブレット端末を引き渡す

吉田智雄社長＝舞鶴市市場の「よのなか塾」で

とができうれい」とさまざまな局面で使わせて話した。早田塾頭は授けていただきます」と感謝の補助や自習などさ謝を述べた。